



東京理科大学

東京理科大学 創設者シリーズ 第2弾

Museum of Science, TUS

富士山観測

Observation at the summit of Mt. Fuji

～日本気象学の礎を築いた中村精男と和田雄治～



入館無料

2024年

9/26(木)～12/14(土)

[水・木・金]12:00～16:00 [土]10:00～16:00

東京理科大学 近代科学資料館

[2F] 多目的室

〒162-8601
東京都新宿区神楽坂1-3
tel.03-5228-8224(開館時間のみ)



神楽坂 まち飛びフェスタ
2024

From the Thomas C. Mendenhall Collection,
Worcester Polytechnic Institute.

富士山観測

Observation at the summit of Mt. Fuji

～日本気象学の礎を築いた中村精男と和田雄治～



ロビンソン式風力計

(気象庁大気海洋部 観測整備計画課気象測器検定試験センター所蔵)

「富士山嶺観象臺」
観象臺設置費凡十五万円 新聞雑誌の原稿

1900(明治33)年2月28日発行
(富士山測候所を活用する会所蔵)



「気象集誌」和田雄治追悼号
(第37章 第2号)

大日本気象学会

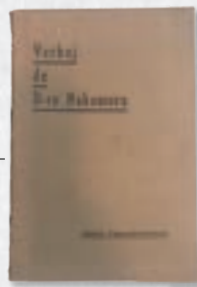
1918(大正7)年2月10日発行
(東京理科大学図書館所蔵)



「Verkoj de D-ro Nakamura」
中村精男論文集

日本エスベラント学会(現・協会)

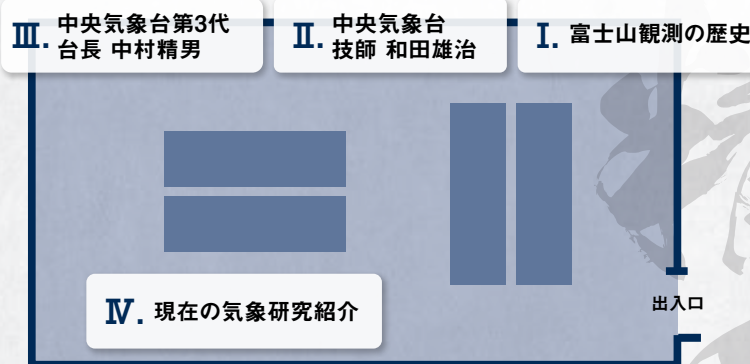
1932(昭和7)年5月15日発行
(日本エスベラント協会所蔵)



東京理科大学の前身である東京物理学校の創設者21人を紹介するシリーズ第2弾は、中央気象台(現在の気象庁)で日本の気象事業の発展に貢献した中村精男と和田雄治に焦点を当てます。

中村精男(長州藩出身1855-1930)は、松下村塾で学び、東京大学理学部卒業後、内務省に奉職。ドイツ留学を経て中央気象台技師となり、第3代中央気象台長を28年間務めました。また、同じ時期に第2代東京物理学校長となり、34年間その職にありました。

和田雄治(陸奥国二本松藩出身1859-1918)は、東京大学理学部卒業後、内務省に奉職、中央気象台では台長に次ぐ職位に就き中村台長を支え、在職中、気象学者の野中至(到)の富士山越冬気象観測に協力しています。その後、朝鮮総督府観測所長となり、朝鮮半島の気象事業の推進に尽力しました。彼らが1880年にお雇い外国人のメンデンホールと物理学を学んでいた田中館愛橘ら学生とともに行った日本初の本格的な富士山での重力測定実験を紹介し、未知の分野であった高山観測や気象観測について展示します。



期 間 2024年9月26日(木)～12月14日(土)

開館時間 水・木・金 12:00～16:00/土 10:00～16:00

休館日 日曜・月曜・火曜・祝日

場 所 東京理科大学 近代科学資料館 2F多目的室

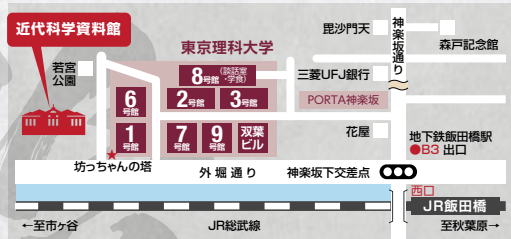
住 所 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

T E L 03-5228-8224 (開館時間のみ)

主 催 東京理科大学 近代科学資料館

展 示 協 力 一般財団法人日本エスベラント協会/ウースター工科大学(WPI)
気象庁大気海洋部 観測整備計画課気象測器検定試験センター/荻博物館
新宿区立新宿歴史博物館/認定NPO法人富士山測候所を活用する会
東京海洋大学明治丸海事ミュージアム/福島県二本松市教育委員会

入館無料



「JR 飯田橋駅」西口 徒歩4分
「地下鉄飯田橋駅」B3出口 徒歩3分



～ 関連トークイベント～

10月26日(土) 「近代気象学の先駆者・中村精男：
吉田松陰と松下村塾の影響を踏まえて」講演
講師 牛見真博 大島商船高等専門学校 教授

11月9日(土) 「富士山での大気観測」講演
講師 三浦和彦 東京理科大学理学部第一部物理学科 嘱託教授
NPO法人富士山測候所を活用する会 理事長

関連講座「ふりこを学ぶ、ふりこであそぶ」

事前申し込み・詳細は当館HPへ!

<右記は開館しています> 11月23日(土)・24日(日) 「理大祭」